

日中省エネルギー・環境ビジネス推進協議会 (JC-BASE) 2022 年度 事業報告

日中省エネルギー・環境ビジネス推進協議会 (JC-BASE) は、2006 年に東京で開催された「第 1 回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」の成果を踏まえ、今後の対中省エネルギー・環境ビジネス推進を図る強力な推進母体として、経済産業省、日本経済界の支援と協力のもと同年 12 月に設立された。JC-BASE は日本の経済界としては初の日中省エネルギー・環境協力推進の横断的な組織であり、設立以来、事務局を務める一般財団法人日中経済協会と緊密な連携を図りながら、日本企業の対中省エネルギー・環境ビジネス推進のためのサポートに努め、ビジネス拡大に向けての障害や問題の克服に向け様々な事業活動を展開してきた。

中国での省エネ・環境関連ビジネスに関心を有する日本の企業や産業団体が参加しており、2023 年 3 月現在の企業・団体会員数は 161 社・団体となっている。

今年度も引き続き会員企業・団体の協力を得ながら、下記の通り事業を実施した。

1. 「第 16 回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」開催への協力

新型コロナウイルス感染症の影響により両国の正常な往来が制限される中、第 16 回フォーラムは 3 回連続で日中双方に会場を設置してオンラインで接続する形式で開催された。アジェンダは昨年度と同様に午前中は全体会議、午後は 4 分科会が開催され、活発な交流が行われた。

当日に向けて、当協議会は自身のネットワークを活用して会議内容をより充実させるために各産業界や企業・団体のニーズの把握や調整を行い、中国側との調整を行った。

「第 16 回日中省エネルギー・環境総合フォーラム」概要	
開催日	2023 年 2 月 11 日 (土)
場 所	ザ・プリンスパークタワー東京 (日本会場) 全体会議：国家発展改革委員会、分科会：北京国賓酒店(中国会場)
開催方式	日中両会場をオンラインで接続。参加者は会場かオンラインのいずれかでの参加。
主 催	[日本側] 経済産業省、日中経済協会 [中国側] 国家発展改革委員会、商務部
会場出席者	<日本会場> 西村 康稔 経済産業大臣 宗岡 正二 日中経済協会会長 保坂 伸 資源エネルギー庁長官 <中国会場>

	何立峰 国家発展改革委員会主任 李飛 商務部部長助理 趙辰昕 国家発展改革委員会副主任 ※会場参加に加えてオンライン参加を設定しつつ、日本側約 430 名、中国側約 440 名の申し込みがあった。
プログラム	午前：全体会議（開幕挨拶、日中協力モデルプロジェクト文書紹介、日中企業代表講演） 午後：分科会 ①エネルギー効率の向上（省エネ） ②自動車の電動化・スマート化 ③水素 ④日中長期貿易（水環境対応と汚泥処理）
協力合意案件	17 件

2. 中国地方政府、民間団体などとの協力・交流事業

事務局である日中経済協会の協力のもと、現地の具体的なニーズを把握している中国地方政府、民間団体との協力・交流を進めている。本年度は前年度にリニューアルを行った「日中省エネルギー・環境技術データバンク」をプラットフォームとしたオンライン交流会を 3 回実施し、JC-BASE においてもニーズ・シーズ関連情報の受発信、省エネルギー・環境専門家や企業など関係者によるオンライン交流等のサポートなどを行なった。

第 1 回目は 2022 年 6 月 8 日に中国機電産品輸出入協会との共催で実施し、中国側は商務部アジア司から尹剛処長と中国機電産品輸出入商会の劉春副会長が出席の下、3 社が参加した。日本側は 9 社が参加したほか、約 20 名が一般視聴で参加し、日中合わせて 70 名以上が参加した。

第 2 回目は 2022 年 8 月 2 日に吉林省商務庁との共催で実施し、吉林省商務庁からは呂繼偉氏、遲闢氏と 2 人の副庁長が出席の下、12 社が参加した。日本側は 7 社が参加したほか、15 名が一般視聴で参加し、日中合わせて 60 名以上が参加した。

第 3 回目は 2022 年 9 月 7 日に国家級経済開発区緑色発展連盟との共催で実施、中国側からは商務部アジア司の尹剛処長、緑色発展連盟傘下の経済開発区 3 カ所及び企業 2 社が参加したほか、日本側も 7 社が参加した。また、日中合わせて 50 名以上が一般視聴で参加し、総勢 80 名以上が本交流会に参加した。

3. JC-BASE の運営

(1) 連絡会の実施

次の通り実施した。実施の背景としては、分科会をはじめとする実施内容についての報告や、フォーラムの開催方式、内容等に関する意見交換、また日本側会場の見学のためである。

日 時：2022 年 12 月 9 日（金）14:00～15:00

会 場：東京プリンスホテル 鳳凰の間

議 案：第 16 回フォーラム開催に向けた準備状況報告、業界団体との情報交換、会場見学

- (1) 開催概要
- (2) 会場、受付、警備
- (3) 全体会議
- (4) 参加申込状況
- (5) 調印案件状況
- (6) 分科会について
- (7) その他、意見交換
- (8) 会場見学

(2)産官懇話会の実施

新型コロナウイルス感染症の影響により、日中間の往来が長らく制限される中での日中協力の現状、ニーズ、課題について意見や情報の交換を行う場として、懇話会を 2 回実施した。

第 1 回は 2022 年 5 月 25 日に開催し、日中省エネルギー・環境総合フォーラムを含む省エネ事業において新たなニーズやアプローチの可能性を探るべく、日本企業同士で意見交換や情報交換の場として各社中国事業の担当責任者が参集し、クローズド形式で実施した。

第 2 回は 2022 年 8 月 3 日に開催し、第 1 回開催で挙げた「テーマを絞った方が、より深い意見交換ができるのではないか」という出席者の意見を踏まえ、省エネ・環境分野の、「金融」にテーマを絞り、資源エネルギー庁とともに、金融業や製造業の方々と交えて意見交換を実施した。

(3)JC-BASE 会員に対するメール情報サービス

2022 度情報提供回数:35 回 (第 470 号～第 503 号)

以上